

平成25年度「特別支援教育に関する実践研究充実事業  
(特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究)」報告書

|        |          |
|--------|----------|
| 団体名    | 熊本県教育委員会 |
| 研究開始年度 | 平成25年度   |

## I 概要

### 1 指定校の一覧

| 設置者 | 学校種    | 学校名 (ふりがなを付すこと)                   |
|-----|--------|-----------------------------------|
| 熊本県 | 特別支援学校 | くまもとけんりつまつばせしえんがっこう<br>熊本県立松橋支援学校 |

### 2 研究テーマ

特別支援学校における個別の教育支援・指導計画を活用した各教科等の効果的な授業の在り方に関する研究

### 3 研究の内容

(研究内容)

- 1 的確な実態把握に基づく、卒業後の自立した姿を目指した個別の教育支援・指導計画の作成
  - (1) 複数の実態把握のためのツール(社会生活学習評価チェックリスト等)を活用した、より客観的な実態把握
  - (2) 実態把握に必要な情報や活用につながる様式等の検討
  - (3) 障害種や学部を越えた将来に向けて付けたい力の検討
- 2 個別の教育支援・指導計画に基づく、授業の実践
  - (1) 授業改善に向けた授業研究会等の充実
    - ・日々の授業を学部研や合同教科研などの小単位組織で、より良い指導内容につなげることを意識して授業研究会等を行うことによる授業改善
  - (2) 授業改善システムの検討
    - ・児童生徒に効果的な指導を行うために必要な知識、技術・技能、態度などを、教師が実際の授業をとおして、計画的・組織的に習得できるシステムの構築
    - 授業チェックリストや個別の授業ファイルの作成、活用 等
- 3 児童生徒の実態や個別の教育支援・指導計画の評価に基づく教育課程の編成
  - (1) 教育課程表の検討
  - (2) 年間指導内容の検討
- 4 関連する取組
  - (1) 専門性向上
  - (2) 先進校視察

(評価の観点及び評価方法)

- 1 「教育課程の編成につながる個別の指導計画等の改善及び、知肢併設校であることを活かした効果的な授業研究会となっているか」

(専門学科と高等部普通科一般学級)

個別の指導計画等に基づき、一人一人のニーズに応じた社会参加に向けた教育課程の編成を検証する。

- 2 「的確に実態把握を行い、指導目標を決定することができたか」

(小学部・中学部・高等部普通科重複学級)

児童生徒一人一人の自立活動について、実態把握、授業の評価、指導内容の検証、次の方針決定までの授業評価システムを実践、検討する。

#### 4 研究成果の概要

##### 1 成果

- (1) 自立活動を主とした教育課程のグループでは、個別の授業記録ファイルやミーティング資料を活用しながら指導目標や指導内容を検討した。
- (2) 将来の社会的自立をめざす専門学科、普通科一般学級では数学、社会の教科担当者を中心にお互いの指導内容を出し合い、検討や精選を行った。
- (3) 支援推進部を中心に、ワーキンググループで検討し、個別の指導計画等の様式を改訂した。

##### 2 課題

- (1) 個別の指導計画や各教科と自立活動についての関連を明らかにした指導案の様式、及びより効果的で意見やアイデアなどを出し合える授業研や事例研、合同教科研の進め方を検討する。
- (2) さらに適切な実態把握に努め、個別の目標や指導内容を検証し、今後の指導目標や指導内容を定めるまでの授業の評価システムを具体化する。
- (3) 特別支援学校学習指導要領に基づいて各教科の指導内容を整理した指導内容表を作成し、社会参加や職業的自立につながる個々の実態に応じた教育課程の編成に努める。
- (4) 改訂した個別の指導計画等を活用し、学部研や合同教科研、校内研究委員会、教育課程検討委員会において共通理解を図り、児童生徒の目標達成のための授業づくりや授業改善への取組を全校的に進める。